



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月8日

上場取引所 東名

上場会社名 リンナイ株式会社

コード番号 5947 URL <https://www.rinnai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 弘康

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 瀬瀬 泰生 TEL 052-361-8211

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	256,900	0.9	22,175	△10.8	24,148	△8.3	15,017	△10.0
2018年3月期第3四半期	254,672	4.7	24,868	△4.5	26,344	△3.7	16,690	△2.1

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 10,855百万円(△48.6%) 2018年3月期第3四半期 21,135百万円(106.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	292.16	—
2018年3月期第3四半期	322.75	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	425,722	314,314	69.0
2018年3月期	422,422	307,965	68.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 293,907百万円 2018年3月期 287,283百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	44.00	—	46.00	90.00
2019年3月期	—	46.00	—		
2019年3月期(予想)				46.00	92.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	350,000	0.8	30,000	△8.7	32,200	△6.1	20,000	△5.6	389.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」も併せてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	51,616,463 株	2018年3月期	51,616,463 株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	216,706 株	2018年3月期	216,404 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	51,399,895 株	2018年3月期3Q	51,714,274 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は2019年2月8日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国や欧州では緩やかに景気が回復しているものの、中国での経済成長の鈍化や米国・中国を中心とした通商問題など、不透明感も漂ってきました。また国内経済においては、企業収益の改善や個人消費が持ち直すなど回復基調が続きました。

国内の住宅関連業界は、新設住宅着工戸数において貸家が減速したことに加え、住宅設備機器の買替えには力強さがなく、弱含みの状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは当期を初年度とする中期経営計画「G－s h i f t 2020」を推進しています。「熱と暮らし」「健康と暮らし」をキーワードに、グローバル市場で生活レベルの向上に寄与していくことや、既存商品やサービスの提供だけでなく、自社のコア技術に新しい技術を取り込み応用発展させた独自の商品・サービスを創出すべく、新しい取り組みを進めてまいりました。販売面につきましては、中国やアメリカなどの海外事業が順調であったことで増収となりましたが、損益面では、国内で高付加価値商品が伸び悩んだことなどによって、当社グループの営業利益は減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,569億円（前年同期比0.9%増）、営業利益221億75百万円（前年同期比10.8%減）、経常利益241億48百万円（前年同期比8.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益150億17百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

〈日本〉

主力商品である給湯暖房機、ふろ給湯器、ビルトインコンロの市場が伸び悩んだことや、給湯器全般において他社との競争が激しく販売が減少したことで、日本の売上高は1,362億4百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は140億90百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

〈アメリカ〉

住宅設備関連の市場が順調に推移する中、利便性の高いタンクレス給湯器の販売が好調であり、さらに高効率タイプの新品が伸長するなど、アメリカの売上高は214億77百万円（前年同期比8.4%増）となりました。しかし、新品の普及拡大に向けた販売促進費や現地生産開始に伴う費用増加により営業利益は5億79百万円（前年同期比61.5%減）となりました。

〈オーストラリア〉

暖冬の影響により開放型暖房機（ファンヒーター）の売上減少はあったものの、主力となる給湯器やエアコンなどの売上が伸長したことに加え、FF暖房機において政府主導の取替需要が増加しており、オーストラリアの売上高は188億54百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益も現地通貨ベースでは増益となりましたが、円高の影響によって16億99百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

〈中国〉

政府の環境政策である石炭からガスへの燃料転換推進の遅れによってボイラーの販売が鈍化しているものの、給湯器の販売は回復傾向にあることなどにより、中国の売上高は330億6百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は25億49百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

〈韓国〉

拡大していた小規模集合住宅の着工が一巡し、好影響を受けていた住宅設備機器は減少傾向となっており、主力商品となるガスコンロやボイラーの販売が前年割れとなりました。韓国の売上高は227億円（前年同期比6.0%減）、高効率ボイラーなど高付加価値商品の減少により営業損失は3億79百万円となりました。

〈インドネシア〉

テーブルコンロ市場において競合会社の経営不振により当社のマーケットシェアが上昇したことに加え、ビルトインコンロやレンジフードの販売も前年を上回ったため、売上高は94億68百万円（前年同期比7.9%増）となりましたが、資材費の増加により営業利益は12億78百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

## (参考1) 機器別売上高の内訳

機器別	前第3四半期累計期間 (2017年4月1日 ～12月31日)		当第3四半期累計期間 (2018年4月1日 ～12月31日)		増 減		前期 (2017年4月1日 ～2018年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
給湯機器	144,582	56.8	147,374	57.4	2,791	1.9	202,387	58.3
厨房機器	67,237	26.4	67,388	26.2	151	0.2	88,364	25.5
空調機器	15,095	5.9	14,968	5.8	△127	△0.8	19,084	5.5
業用機器	7,238	2.8	6,159	2.4	△1,079	△14.9	9,499	2.7
その他	20,518	8.1	21,009	8.2	491	2.4	27,735	8.0
合 計	254,672	100.0	256,900	100.0	2,227	0.9	347,071	100.0

## (参考2) 海外売上高

	前第3四半期累計期間 (2017年4月1日～12月31日)			当第3四半期累計期間 (2018年4月1日～12月31日)		
	アジア	その他の 地域	計	アジア	その他の 地域	計
I 海外売上高 (百万円)	76,034	46,227	122,262	78,327	49,125	127,452
II 連結売上高 (百万円)	—	—	254,672	—	—	256,900
III 海外売上高の連結売上高に 占める割合 (%)	29.9	18.2	48.0	30.5	19.1	49.6

(注) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて32億99百万円増加し4,257億22百万円となりました。また、負債は30億49百万円減少し1,114億7百万円となり、純資産は63億48百万円増加し3,143億14百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は69.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

海外販売の成長は概ね継続しておりますが、国内や韓国において主力商品の販売が伸び悩んだことに加え、海外での販売促進費等の増加に伴い、当社グループの業績は予想を下回る見込みとなりました。最近の業績状況等も踏まえて、2018年5月9日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。

## 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 360,000	百万円 36,000	百万円 37,300	百万円 23,000	円 銭 447.47
今回修正予想 (B)	350,000	30,000	32,200	20,000	389.11
増減額 (B - A)	△10,000	△6,000	△5,100	△3,000	—
増減率 (%)	△2.8	△16.7	△13.7	△13.0	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	347,071	32,849	34,286	21,194	410.41

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	124,771	122,094
受取手形及び売掛金	66,341	72,370
電子記録債権	8,858	8,901
有価証券	17,920	20,032
商品及び製品	27,330	33,340
原材料及び貯蔵品	16,014	16,944
その他	3,438	3,699
貸倒引当金	△1,213	△1,173
流動資産合計	263,462	276,209
固定資産		
有形固定資産	83,415	84,009
無形固定資産	6,350	5,764
投資その他の資産		
投資有価証券	46,067	36,365
その他	23,196	23,438
貸倒引当金	△68	△66
投資その他の資産合計	69,194	59,737
固定資産合計	158,960	149,512
資産合計	422,422	425,722
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,953	22,313
電子記録債務	32,771	32,469
未払法人税等	4,843	3,653
賞与引当金	4,676	2,337
製品保証引当金	4,602	4,200
その他の引当金	976	724
その他	22,082	24,162
流動負債合計	92,905	89,860
固定負債		
環境対策引当金	2,255	2,255
その他の引当金	147	104
退職給付に係る負債	10,466	10,366
その他	8,682	8,821
固定負債合計	21,551	21,547
負債合計	114,457	111,407
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,459	6,459
資本剰余金	8,756	8,756
利益剰余金	258,814	270,680
自己株式	△1,860	△1,863
株主資本合計	272,170	284,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,583	5,219
為替換算調整勘定	4,682	1,194
退職給付に係る調整累計額	3,846	3,461
その他の包括利益累計額合計	15,112	9,874
非支配株主持分	20,682	20,406
純資産合計	307,965	314,314
負債純資産合計	422,422	425,722

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	254,672	256,900
売上原価	170,892	173,260
売上総利益	83,780	83,639
販売費及び一般管理費	58,911	61,463
営業利益	24,868	22,175
営業外収益		
受取利息	686	665
受取配当金	498	493
為替差益	79	250
その他	505	785
営業外収益合計	1,769	2,194
営業外費用		
固定資産除却損	99	186
その他	195	35
営業外費用合計	294	222
経常利益	26,344	24,148
特別利益		
受取保険金	291	—
補助金収入	—	69
特別利益合計	291	69
特別損失		
固定資産圧縮損	—	69
特別損失合計	—	69
税金等調整前四半期純利益	26,636	24,148
法人税、住民税及び事業税	7,900	6,831
法人税等調整額	△57	194
法人税等合計	7,842	7,026
四半期純利益	18,793	17,121
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,102	2,104
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,690	15,017

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	18,793	17,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,649	△1,366
為替換算調整勘定	774	△4,520
退職給付に係る調整額	△82	△378
その他の包括利益合計	2,342	△6,265
四半期包括利益	21,135	10,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,011	9,779
非支配株主に係る四半期包括利益	2,124	1,076

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	アメリカ	オースト ラリア	中国	韓国	インド ネシア	計			
売上高										
外部顧客への売上高	139,635	19,819	18,169	30,928	24,137	8,779	241,471	13,201	—	254,672
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,280	—	92	1,361	1,108	461	27,304	2,071	△29,376	—
計	163,916	19,819	18,262	32,290	25,246	9,240	268,775	15,273	△29,376	254,672
セグメント利益	15,281	1,504	1,752	2,539	165	1,312	22,556	2,078	233	24,868

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	アメリカ	オースト ラリア	中国	韓国	インド ネシア	計			
売上高										
外部顧客への売上高	136,204	21,477	18,854	33,006	22,700	9,468	241,712	15,187	—	256,900
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,404	—	100	1,213	826	531	29,075	2,004	△31,080	—
計	162,609	21,477	18,954	34,219	23,526	10,000	270,788	17,192	△31,080	256,900
セグメント利益又は 損失(△)	14,090	579	1,699	2,549	△379	1,278	19,816	2,429	△70	22,175

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。